

■ 不幸現象について

【病気とは】

- 5 ・ 罹^{かか}る方の行動や言葉が『真理』に反しているから、霊障^{れいしょう}を受けて「病気」になるのです。霊体^{れいたい}と幽体^{ゆうたい}が傷んでいる状態では、肉体だけ救おうとしても治りません。
- ・ 特に癌^{がん}など、大病^{たいびょう}を患う方の共通点は、頑固^{わづら}で感謝をしない人が多い傾向にあります。また、転移癌^{てんいがん}は、何も関係の無い“烏合の衆”^{うごうしゅう}によって作られています。
- 10 そのため、放っておくと加速度的に悪化します。
※但し、『真理＝神理』に基づいたお諭しなどの霊的な治療を行うと、すぐに変化が出て、数日で消えてしまいます。
* “烏合”とは・・・からすの集まりのように秩序も統一もなく集まること
* “烏合の衆”とは・・・秩序も統一もなく集まった人々
- 15 ・ 『神』が大きく使おうと予定している方の中には、クリーニング現象《45P》として病気に罹^{かか}ることもあります。

20 【憑霊現象】

- ・ 特別に恨みの心が無い霊が身体に憑^かく時には、鶏卵^{けいらん}より一回り大きな球体となって、身体に半分埋まっている状態で肩や背中に憑依^{ひょうい}します。
- 25 ・ 恨みを持って障っている霊は、身体の中に深く入り込んで、内臓^{がん}に癌を作ったりします。

霊が人に対して憑依する理由は・・・

- ① 因縁^{いんねん}、恨みによる場合。
- 30 ② “この人なら理解して貰える”と、頼ってくる場合。
※対処法《88、89P》にて解説
- ③ 特に因縁^{いんねん}は無くても、面白半分^{きわ}で障ってくる場合。
- 35 ④ 憑霊^{ひょうれい}と波調^{おも}が合う場合。
⇒ 主に悪想念や攻撃的な心の持ち方によるものが原因です。(類は友を呼ぶ)

40 悪想念^{あくそうねん}を出したり、立ち居振る舞い^{た い ふ ま}が下品だったりすると、悪意を持った霊に憑依^{ひょうい}されるので注意しましょう。
常に感謝して、言葉遣い^{だ い ふ ま}や立ち居振る舞い^{た い ふ ま}は、丁寧^{ていねい}で上品になるように心掛け^{こころが}ましょう。